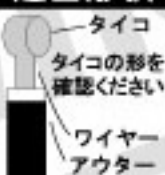


作業前に必ずお読み下さい。

タイコの形状を確認後お買求めください。

参考 車種別適合サイズ ▼印の車種は古いワイヤーの長さと同じ長さに切って利用ください。	適合形状	
	前用	後用
軽快車	62cm	150cm
アップハンドル(カマキリ型)	66cm	160cm
幼児車〜子供車▼	50〜54cm	140〜142cm
ATB・MTB▼	60〜62cm	145〜155cm



ブレーキ調整マニュアル 代表的な取扱方です

ワイヤー止めナット キャリパーブレーキ 前用

■ワイヤーを交換後、指でブレーキゴムを押さえたままワイヤーを左図内↓方向へワイヤーなどで引き、ワイヤー止めナットで仮止めます。

■リムとゴムの間隔が左右均等に約2mm程のすき間をセットし、ゴムがリムに平行にあたるようにして下さい。

■ブレーキレバーを握った際に1/2程度でブレーキがかかるよう調整してからワイヤー止めナットを締めます。その後、ワイヤーキャップを付けて下さい。

左右均等にすき間をあけ、各2mm

左右が均等にならない場合(片効き)、貫通ボルトのナットをゆるめて調節後、固定し直して下さい。

ドラムブレーキ 後用

ワイヤー止めナットでワイヤーを仮止めた後ワイヤーを下図内↓方向へ引き、ブレーキレバーを握った際に1/2程度でブレーキがかかるよう調整してからワイヤー止めナットを締めます。その後、ワイヤーキャップを付けて下さい。

微調整の仕方

アジャスターネジで調整します。
※ブレーキレバーにアジャスターボルトが付いている一部の車種はそこで微調整が行えます。

■キャリパーブレーキ
ゆるむ、しまる
アジャスター
ロックナット

■ドラムブレーキ
しまる
ゆるむ
ロックナット
アジャスター

調整後はロックナットをゆるまない様にしっかりと固定して下さい。

使用上の注意！！

作業後、必ずブレーキレバーを操作して、ブレーキが作動するか確認して下さい。
※サーボブレーキ、ローラーブレーキについては基本的な作業は同じですが部品構成が若干異なります。

ブレーキまわりには絶対に油をささないで下さい。ブレーキが効かず大変危険です。

調整不良のまま乗車しないで下さい。自身での調整が困難な場合、専門店、安全整備士の点検を受けて下さい。

ほつれやサビなどの異常がある場合はすぐに交換して下さい。